



# もう飽きたの？

媒 体	DVD
時 間	14分
整理番号	S00502

本プログラムのねらい	期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>○日頃の子供とのコミュニケーションを振り返り、関わり方のタイプを理解する。</li> <li>○子供との遊び方について、他の保護者と意見交流する。</li> </ul>	子供の行動に、つい口を出し過ぎてしまったり、過剰に不安を感じたりしている保護者が、 <b>ゆとりと自信を持って子供と関わる</b> ことができるようになる。

活動の主な流れ（映像教材の内容）	運営上の留意点
1 ビデオを視聴前に、ワークシートを使って、子供に対する日頃の関わり方について振り返る。（5分）	・人数分のワークシートを準備しておき、配布しておく。

（例）このチェックリストは、これから見るビデオに出てくるリストです。ふだんの生活を思い出しながら、「はい」か「いいえ」のいずれかに○をつけてみましょう。

2 ビデオを視聴する。（15分）	
------------------	--

（例）ビデオを見た後で、感想を話し合います。共感したり疑問に思ったりしたことなどがあれば、どんどんメモをしておきましょう。

- 【ビデオの概要】**
- オープニング（司会と講師による対談形式）
  - 幼児期の特徴と親の関わり方のポイント（3' 50"～）
    - ・個性を理解し、他の子と比べない
    - ・幼児期のタイプ（衝動型・熟慮型）
    - ・過保護、過干渉、放任の問題
  - 我が子に対する態度のチェック（7' 40"～）
    - ・配慮型チェックと圧力型チェック
    - ・自分の子供に対する関わり方の傾向を理解し、意図的に生活に生かすことが大切
  - 遊び方の秘訣について（10' 35"～）
    - ・「ごっこ遊び」の達人になりましょう
  - エンディング（講師によるまとめ）（13' 10"～）

衝動型・熟慮型・過保護・過干渉・放任  
 等のキーワードについては、予めカードにしておき、ビデオに合わせて黒板等に掲示しておくこと、話し合いに役立つ。

ビデオに合わせて、  
 ◇配慮型・高+圧力型・高⇒過保護  
 ◇配慮型・低+圧力型・高⇒過干渉  
 ◇配慮型・低+圧力型・低⇒放任 等  
 掲示しておくことよい。

3 ビデオ視聴後の感想を交流する。（20分～40分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに印象に残った言葉などを述べ合う</li> </ul>	▶「エンディングプログラム」参照
--	------------------

**（話し合いを深める言葉かけの例）**  
 ・お子さんと、どんなごっこ遊びをしていますか？ また、どんなごっこ遊びが好きですか？  
 ・ふだんの遊びに、どんな工夫をしていますか？ また、どんな工夫ができそうでしょうか。